

アメリカ

—— 対外政策の変容と国際秩序 ——

日本国際政治学会編

- 序章 アメリカの対外政策の変容と国際秩序……………西山 隆 行
 アメリカ外交の長期的展開・変容と国際秩序……………佐々木 卓 也
 「リベラルな国際主義」の変容と新冷戦2.0……………西田 竜 也
 内側から侵食される「リベラルな国際秩序」……………三 牧 聖 子
 境界線に投影される国際秩序の二面性……………大津留（北川）智恵子
 トランプ・バイデン政権の対中半導体紛争……………大矢根 聡
 二つの「一つの世界」……………三 島 武之介
 なぜ米国はイラクに侵攻したのか？……………溝 渕 正 季
 ASEANのミャンマー問題への対応……………渡 辺 理 子
- 〈書評論文〉
 植民地独立と国連平和維持活動の起源から見えるもの…山 田 哲 也
 デジタルシルクロードは中国的価値観の
 普及・拡大ツールとして機能しているか……………伊 藤 和歌子
 湾岸アラブ諸国研究の新潮流は生まれるか……………松 尾 昌 樹
- 〈書 評〉
 土屋由香著
 『文化冷戦と科学技術』……………武 田 悠
 谷一巳著
 『帝国とヨーロッパのあいだで』……………後 藤 春 美
 五百旗頭真監修、井上正也・上西朗夫・長瀬要石著
 『評伝福田赳夫』……………若 月 秀 和

国際政治

213